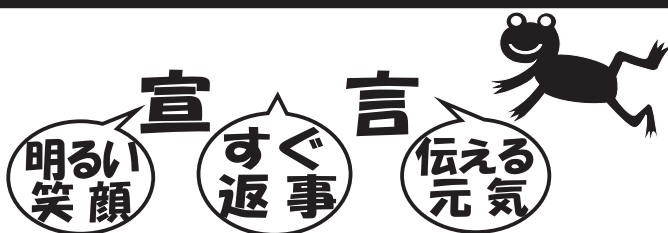
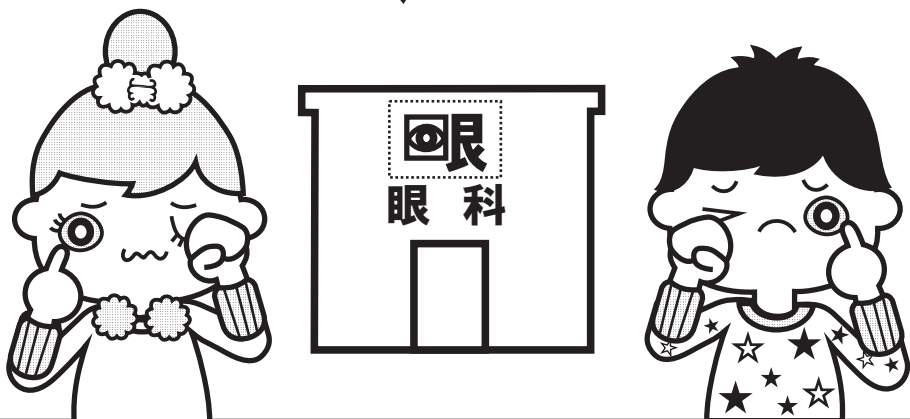


キッズシリーズ⑩

結膜炎



かちどき薬品 ホームページ
げんき君 健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ

「結膜炎」どんな病気？

細菌やウイルスの感染で結膜に炎症

目の充血や目やにが見られます

結膜炎とは、眼球を保護するために白目の部分を覆っている薄い膜である結膜が炎症を起こしたものです。炎症の原因には、ウイルス、細菌感染、そして花粉やハウスダストなどの抗原(アレルギー)によるものがあります。

こんな症状が気になりだしたら結膜炎？

お子さんの目の異変！ココをチェック！

- 白目(結膜)が充血している
- 目やにが出ている
- 涙が出やすい
- まぶたが腫れてきた
- 熱っぽい
- かぜの初期のような症状がある

白目(結膜)が赤くなるのは結膜炎以外の理由も考えられます。眼科医の診察を受けましょう。



∞種類と原因∞

結膜炎には大きく分けて、アレルギー性・細菌性・ウイルス性があります。

見ただけでは結膜炎の原因まではわからないことが多いですが、原因によっては「充血」の程度や「目やに」の色・状態に特徴が見られることがあります。



<アレルギー性結膜炎>

ハウスダスト等の抗原(アレルゲン)によって起こる結膜炎を「アレルギー性結膜炎」と言います。

よく知られている花粉症もアレルギー疾患の一種で、花粉の飛び散る季節に起こります。

花粉症を引き起こす花粉としてはスギ・ブタクサ・ヨモギ等が知られています。

～症状～

目のかゆみ、異物感、充血、むくみ、流涙(りゅうるい)などが起こり、目やにが出ます。

くしゃみ、鼻汁分泌、鼻づまりなどの鼻のアレルギー症状を併発することが多いです。

<細菌性結膜炎>

○細菌性結膜炎

病原菌として黄色ブドウ球菌、コアグラーゼ陰性ブドウ球菌、肺炎球菌、 α あるいは β 溶血性連鎖球菌、腸球菌、インフルエンザ菌や緑膿菌などが知られています。

～症状～

充血や、目やにが出て、まぶたの裏にブツブツした濾胞(ろほう)ができることがあります。結膜に偽膜(ぎまく)という白い膜をつくることもあります。

○淋菌性結膜炎(りんきんせいけつまくえん)

新生児の場合、「膿漏眼(のうろうがん)」と呼ばれます。出産の際、産道での淋菌による感染で、生後3～4日で発病します。

新生児・成人ともに重症化すると、角膜に孔(穴)ができる場合もあります。

～症状～

充血、まぶたの腫れ、黄色膿性の目やにが大量に出ます。

○トラコーマ

クラミジア・トラコマチスの感染によって起こる結膜炎でクラミジア結膜炎ともいいます。

かつては、日本でも多くみられた病気ですが、現在はほとんどなくなりました。

～症状～

新生児…生後1～2週間で発症し、目やにや充血がみられ、結膜の表面に偽膜をつくることもあります。

成人…ブツブツとした濾胞ができ、目やに、充血がみられ慢性化することもあります。

<ウイルス性結膜炎>

伝染性の強いウイルスに感染して発症するもので、主に3種類の疾患が知られています。

○流行性角結膜炎

一般的に「はやり目」と呼ばれています。
感染して1週間前後の潜伏期間を経て発症します。この間、非常に伝染性が強いので注意が必要です。
発病後10日目ごろより黒目に点状の濁りが起こることがあります。
通常4週間前後で治ります。

～症状～

充血、まぶたの裏に濾胞ができ、まぶたの腫れが著しくなります。粘り気のある目やに、異物感(目がゴロゴロする)、耳前リンパ節の腫れ・痛みがあります。結膜下出血があったり、結膜に偽膜をつくることもあります。

○咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は、夏場のプールで子どもに感染することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。約1週間の潜伏期間後に発病して、10日ほどでよくなります。
症状が軽くなっても、便のなかにウイルスが出ていたり、白目やのどの粘膜から感染する可能性があるため、プールの利用は許可されません。

～症状～

のどの痛みや発熱、吐き気などがあり風邪のような症状で下痢をする場合があります。

○急性出血性結膜炎

急性出血性結膜炎は、潜伏期間が1日と短く、発病後1週間ほどでよくなります。結膜下出血を起こすので、白目が真っ赤になるのが特徴です。一般的に子どもに少なく成人に多い傾向があり、1年中起こりますが、特に冬・夏に流行します。

～症状～

結膜の強い充血と初期に点状出血が起こります。粘り気のある目やにが出て、異物感があることもあります。

…合併症・治療法…

◇合併症とは◇◇◇◇◇

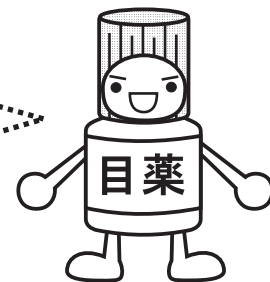
結膜炎は眼球の表面に付着している結膜の病気ですので、ひどくなっても眼球内部に変化は起こらず、失明することはほとんどありません。
しかし、結膜炎に合併症が起きると視力に影響が残るケースもあります。
合併症を起こさないためにも、結膜炎をあまく考えずに、早めにきちんと治しましょう。



◇治療法◇◇◇◇◇

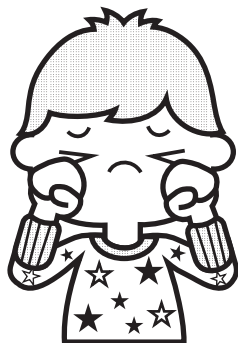
原因が細菌性の場合は、抗生物質の入った点眼薬を使います。
ウイルス性の場合は、今のところ特効薬はなく、ウイルスで弱っている目が他の感染や症状を起こさないように点眼薬をサポート的に使います。
アレルギー性の場合は症状を抑えるため、抗アレルギー点眼薬を使用することがあります。
特に乳幼児は、結膜炎の症状が悪化すると視力障害を起こす可能性がありますので、眼科や小児科で診てもらい早めに治療を受けましょう。

点眼薬は、眼科医の指導のもとに使用し、後遺症や合併症を防ぐために自己判断で中止せず、一定期間継続して点眼を行うことが大切です。



∞ 予防・対策 ∞

感染する結膜炎の場合、病気を人にうつさないよう注意が必要です。感染する結膜炎かそうでないかの判断に少し時間のかかこともあります。その場合は、感染するものと思って対処しましょう。



①手をこまめに洗う

石けんを使用して、流水で十分に洗い流してください。可能であれば、その後約70%消毒用アルコールで消毒してください。



②タオルや洗面具は家族と別にする

ウイルスや細菌は水分が大好きなので、タオルは家族と共用せずに使い捨てのペーパータオル等を使いましょう。

③タオルや衣類の洗濯について

- 家族が使用する物とは別に洗濯してください。
- すすぎの段階で塩素系の家庭用漂白剤約0.1%(血液を落とす程度の濃度)で使用して、5分間溜めすすぎにしてください。
- 日光での乾燥、または家庭の乾燥機を使用し、よく乾かしてください。

④目を直接拭かない、こすらない！

目やにはウイルスが混じっており、触った手を介して接触感染します。

⑤涙や目やにはティッシュペーパーで拭き、捨てる

涙が多い時には、なるべくティッシュペーパーで拭き取り、ビニール袋にまとめて捨てましょう。

⑥規則正しい生活と栄養バランスのとれた食事

睡眠・食事などは適切にとり、体力をつけて免疫力を高めましょう。

⑦登校・プールは医師の許可を得てから

感染する結膜炎の場合、非常に伝染力が強いものもあるので、ほかの人への感染を防ぐために学校を休む必要があります。

⑧点眼薬は必ず症状のある目だけに使用

点眼薬は使用しているうちにウイルスに汚染されることがあり、点眼液を介して片方の目にうつることがあります。また、涙が多い場合は寝る時に症状のある目を下にして、症状のない目に涙が入らないようにしてください。

⑨医師の許可があるまで通院

発病後、約1~2週間ぐらいで黒目に濁りが出てきて視力を障害することがあります。充血がとれても、医師の指示があるまで通院してください。

